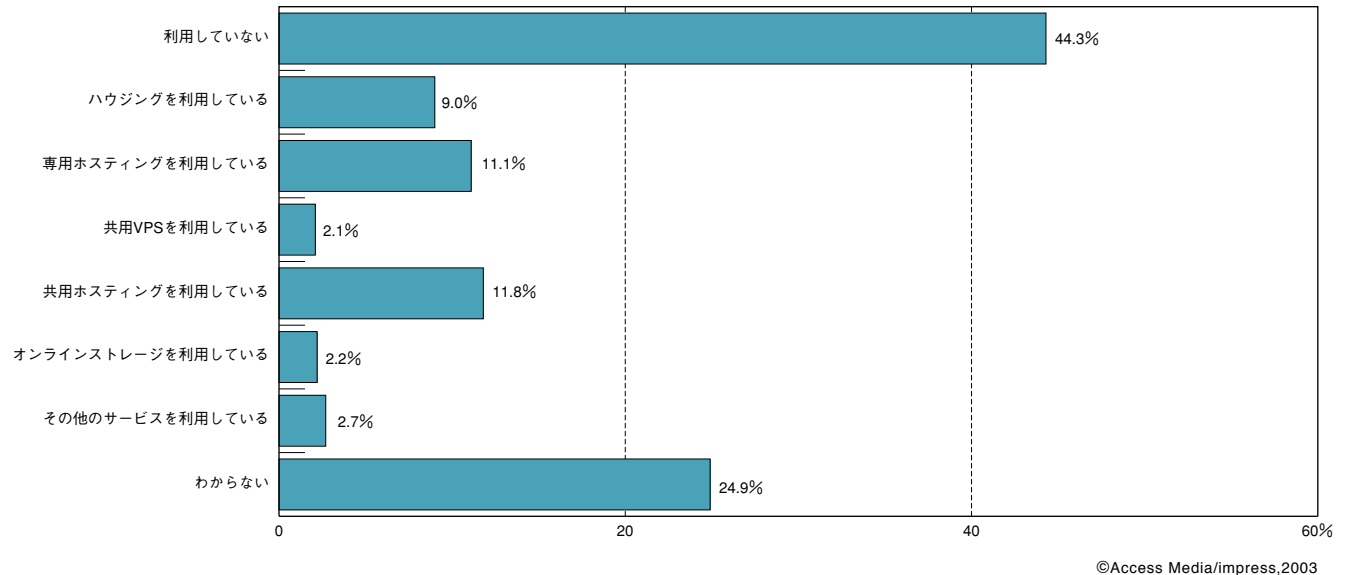


## サーバーの外部運用状況とコスト

### 44.3%がハウジング・ホスティングを利用していない

資料3-3-1 ハウジング・ホスティング・共用VPSの利用有無 N=1,798



大幅な低価格化が進み、個人には一般的であるサーバーの外部運用サービスであるが、企業では半数近い44.3%が利用していないと回答している。利用サービスの中ではホスティングの比率がやや高いが、それでも10%台である。

### 専用ホスティングの利用は大企業

資料3-3-2 従業員規模別 iDC・ハウジング・ホスティングの利用有無 N=1,798

	利用していない	ハウジングを利用している	専用ホスティングを利用している	共用VPSを利用している	共用ホスティングを利用している	オンラインストレージを利用している	その他のサービスを利用している	わからない
9人以下 N=338	50.3%	5.9%	9.8%	2.1%	21.6%	1.5%	1.8%	10.9%
10-49人 N=371	47.2%	7.8%	9.7%	2.4%	15.1%	2.4%	3.5%	18.9%
50-99人 N=166	40.4%	8.4%	14.5%	0.0%	15.1%	1.8%	1.2%	25.3%
100-499人 N=305	47.5%	9.8%	11.1%	1.0%	8.5%	1.6%	2.0%	26.2%
500-999人 N=122	41.8%	11.5%	10.7%	3.3%	1.6%	0.8%	2.5%	34.4%
1,000-4,999人 N=189	45.5%	8.5%	10.6%	2.1%	4.2%	4.8%	2.1%	32.8%
5,000-9,999人 N=61	44.3%	11.5%	6.6%	3.3%	1.6%	1.6%	8.2%	34.4%
10,000人以上 N=92	26.1%	17.4%	19.6%	3.3%	6.5%	3.3%	5.4%	40.2%
わからない N=154	33.1%	10.4%	11.0%	3.2%	10.4%	2.6%	3.2%	37.0%

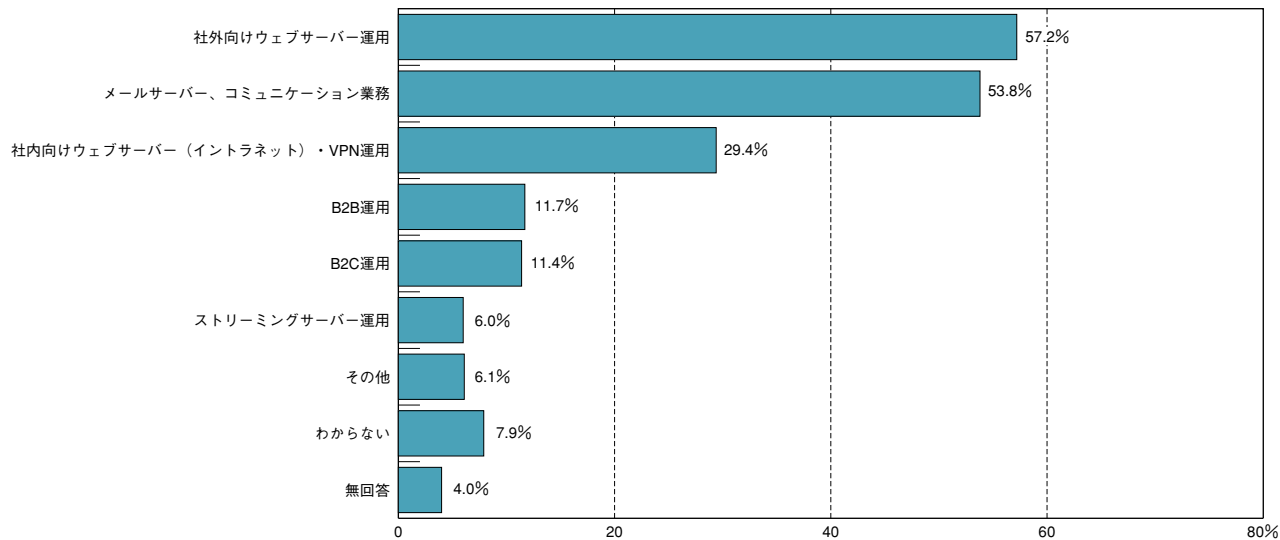
©Access Media/impress,2003

ハウジングやホスティングの利用率を従業員規模別に見ると、「利用していない」は従業員規模が大きくなるに従って減少する。ハウジングと専用ホスティングは従業員規模に比例するが、共用ホスティングは逆に規模が小さい企業ほど利用率が高い。

## サーバーの外部運用状況とコスト

### 社外サーバーの用途はウェブとメールが中心

資料3-3-3 IDC・ハウジング・ホスティングの利用目的 N=554

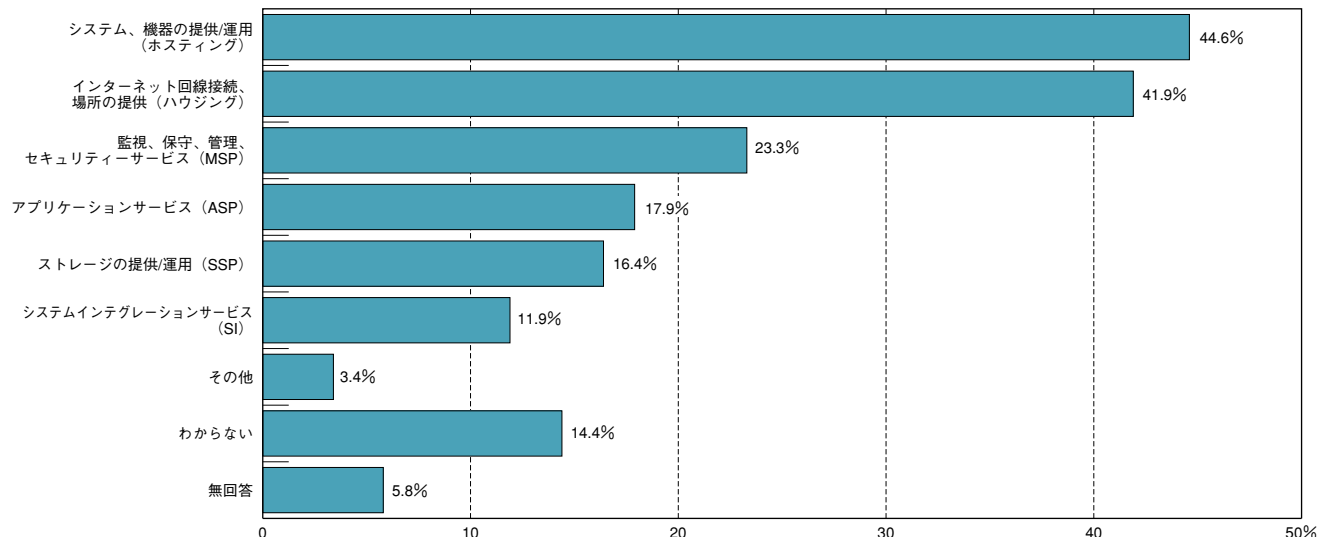


©Access Media/impress,2003

ハウジングやホスティングで利用しているサーバーの用途は、社外向けのウェブサーバーが57.2%と高い比率を占め、次いでメールサーバーとコミュニケーション業務が53.8%ある。この2つの用途が利用の中心である。

### 保守運用サービスの利用はまだ少ない

資料3-3-4 IDC・ハウジング・ホスティングの利用内容 N=554



©Access Media/impress,2003

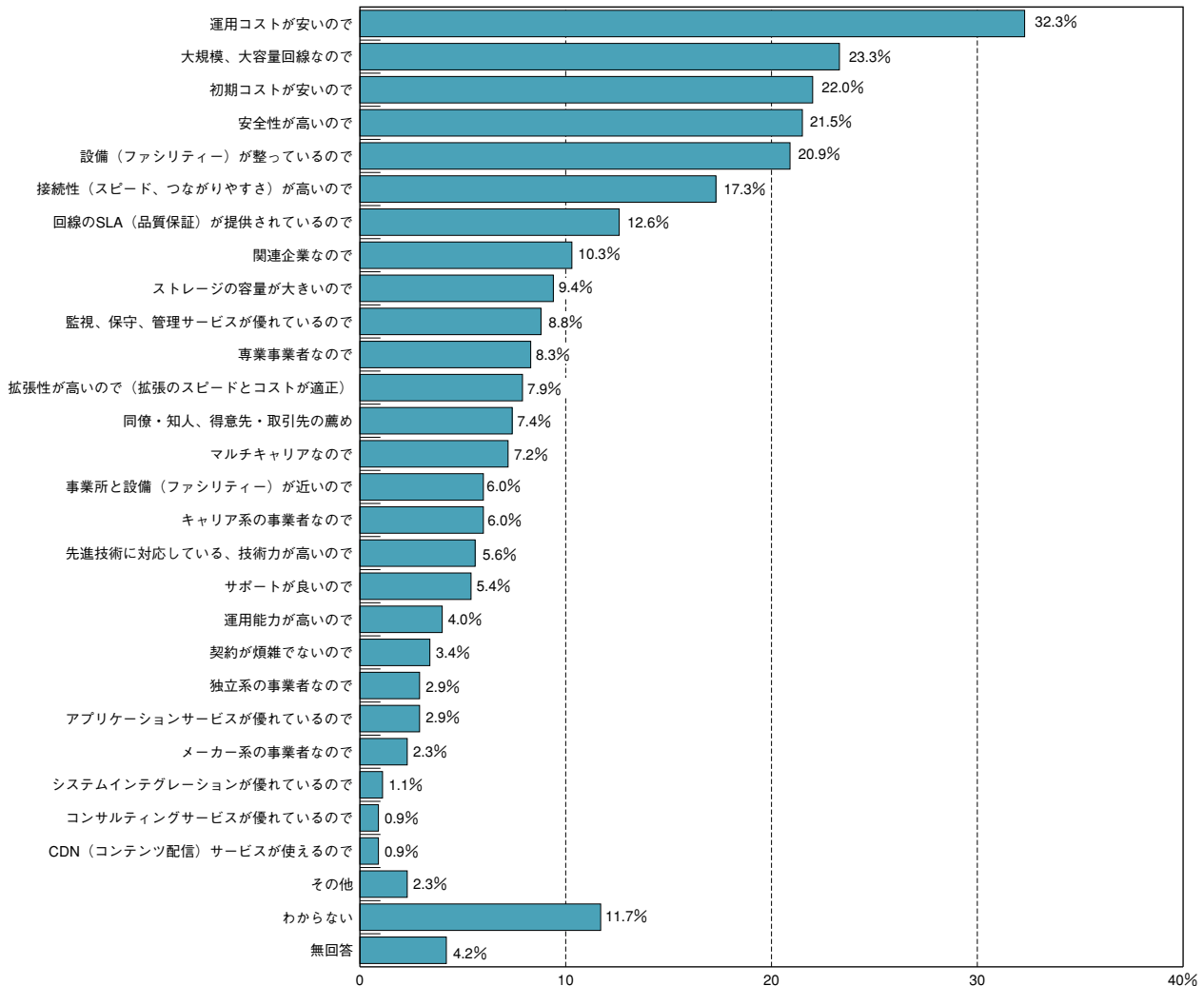
アウトソーシング利用企業だけに聞いた内容は、「システム、機器の提供」「インターネット回線接続、場所の提供」が4割以上。MSPやASP、SSPといった保守運用サービスの利用はこれらに比べるとまだ少ないが、この中ではMSPの比率が高い。

インターネット白書 / ©1996-2012 Impress R&D

## サーバーの外部運用状況とコスト

### 事業者選択の決め手はここでも「安さ」

資料3-3-5 IDC・ハウジング・ホスティング事業者の選択理由 N=554



©Access Media/Impress,2003

IDC・ハウジング・ホスティング事業者の選択理由は「運用コストが安いので」が32.3%を占める。次いで回線の規模が23.3%で2位になっているが、3位には再びコスト要因「初期コストが安いので」。とにかくまずコストを最重視する姿勢がうかがえる。

日本の普及状況

個人の利用実態

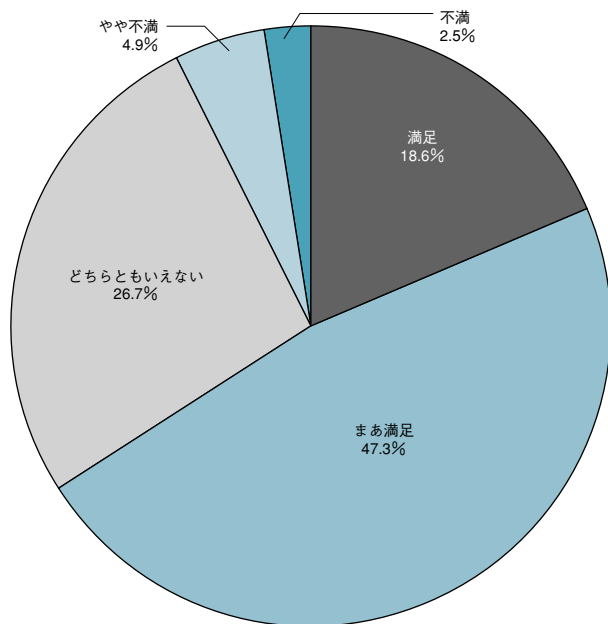
企業の利用実態

海外の普及状況

## サーバーの外部運用状況とコスト

### スピード・回線品質への不満はわずか

資料3-3-6 IDC・ハウジング・ホスティングのスピード・回線品質の満足度 N=554

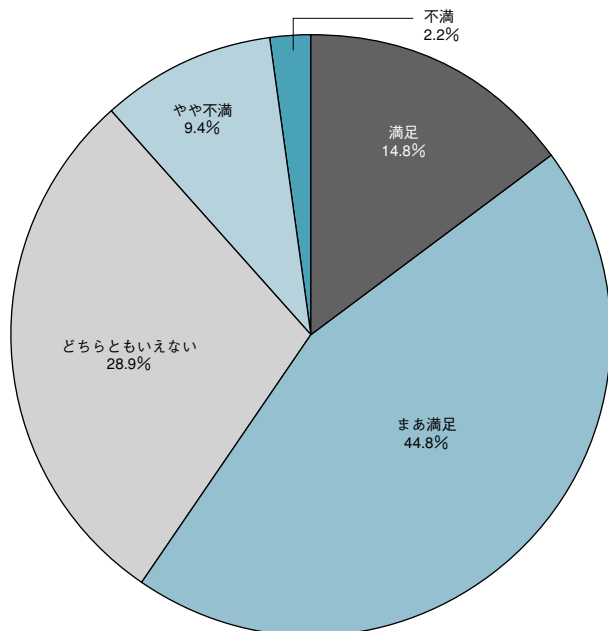


©Access Media/impress,2003

サービスの満足度では、「満足」「まあ満足」の合計で65.9%と過半数を占める。一方、「不満」「やや不満」は7.4%に過ぎず、おおむね不満なく運用されているようである。

### サービス品質については「やや不満」が増加

資料3-3-7 IDC・ハウジング・ホスティングのサービス品質に関する満足度 N=554



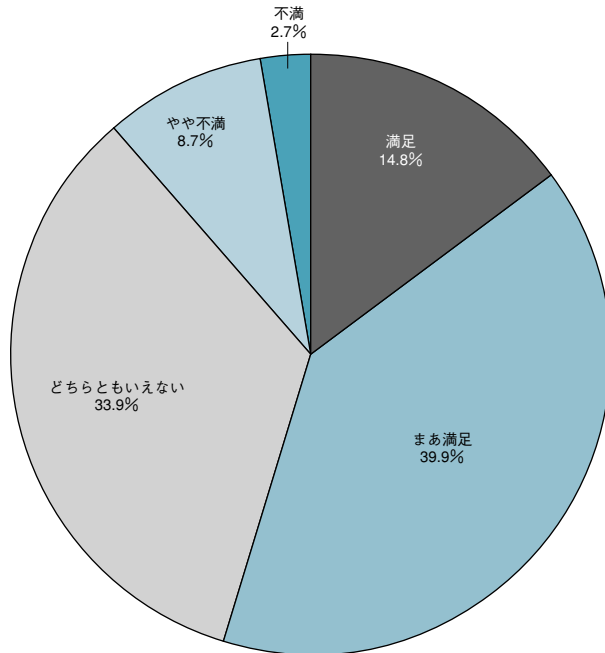
©Access Media/impress,2003

サービス品質に対する満足度では、「満足」「まあ満足」「どちらともいえない」の比率がわずかずつ下がり、その分「やや不満」が増えて9.4%ある。明確な不満があるわけではないが、満足できていないわけではない、という状況だろう。

## サーバーの外部運用状況とコスト

### サポートは満足・不満どちらでもない

資料3-3-8 iDC・ハウジング・ホスティングのサポートに関する満足度 N=554

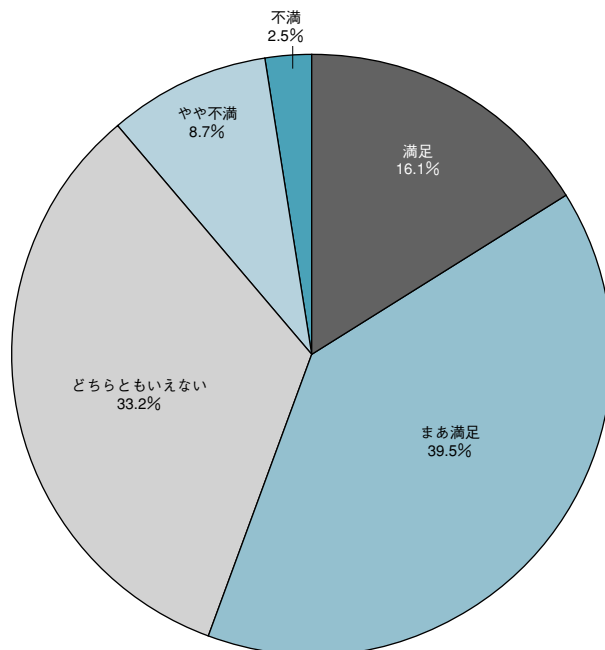


©Access Media/impress,2003

サポートに関する満足度は、「まあ満足」が減少し、その分が「どちらともいえない」に移った感がある。明瞭な評価がないようで、サポートの利用頻度もあまり高くないと想像される。

### コストで選んだ事業者には過半数が不満なし

資料3-3-9 iDC・ハウジング・ホスティングのコスト（料金）に関する満足度 N=554



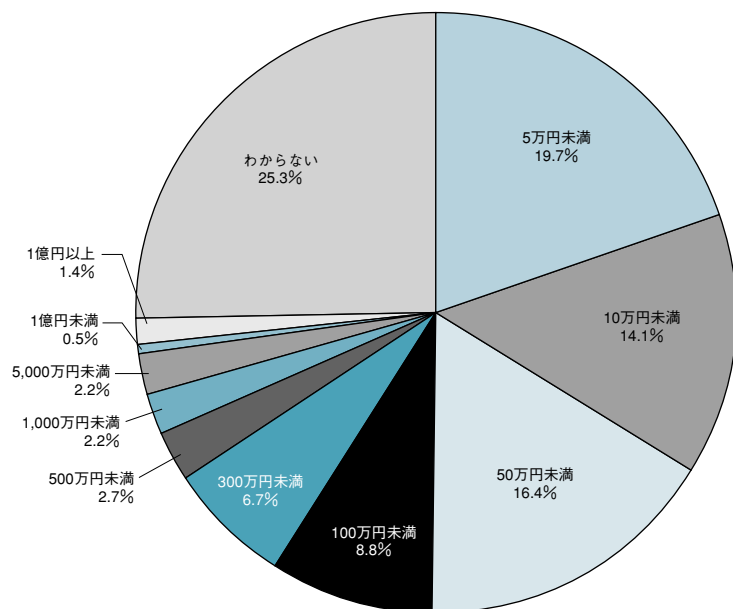
©Access Media/impress,2003

選択基準としてコストを重視する傾向が見られたことから、不満をもつ層が多いと予想したが、実際には「満足」「まあ満足」が55.6%を占めた。コスト重視で十分安い事業者を見つけられた、ということだと思われる。

## サーバーの外部運用状況とコスト

### 年間利用コストは50万円未満が約半数

資料3-3-10 IDC・ハウジング・ホスティングの年間利用コスト N=554



©Access Media/impress,2003

安さ重視の選択姿勢からも予想されたが、年間利用コストも低いほうが高率となり、「5万円未満」「10万円未満」「50万円未満」の3種の回答で約半分になる。一方、1億円以上という回答も1.4%存在する。

日本の普及状況

個人の利用実態

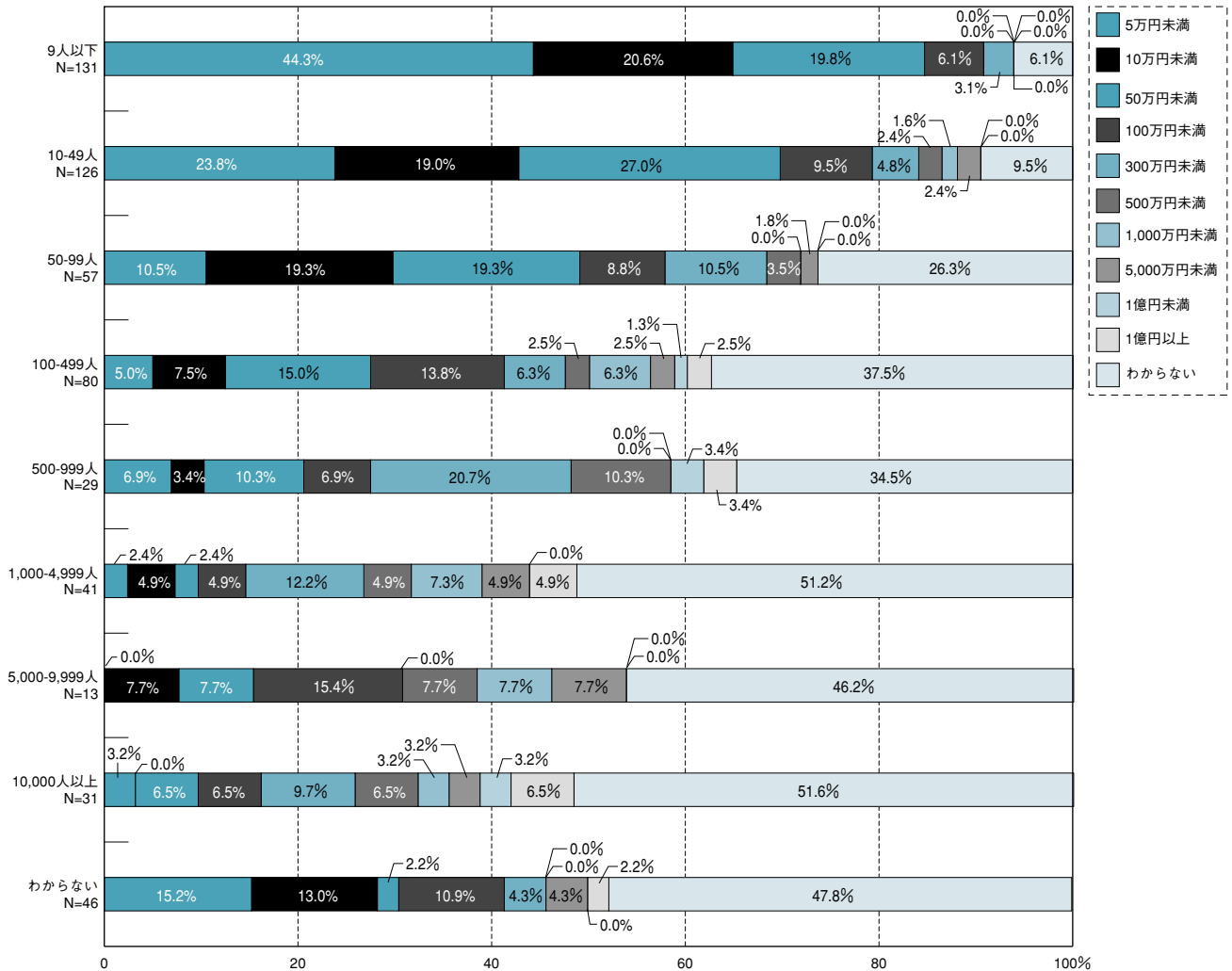
企業の利用実態

海外の普及状況

# サーバーの外部運用状況とコスト

## 年間利用コストと企業規模はおおむね比例傾向

資料3-3-11 従業員規模別 iDC・ハウジング・ホスティングの年間利用コスト N=554



©Access Media/impress,2003

iDC・ハウジング・ホスティングの利用コストは、おおむね企業規模に比例する。小規模な企業ほど「5万円未満」の回答が多く、「1億円以上」という回答は50人未満の企業には見られない。

日本の普及状況

個人の利用実態

企業の利用実態

海外の普及状況



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)